

11月13日（水） 朝礼のお話

言葉の力、言霊（ことだま）について

さて、今日は言葉のお話をしようと思います。私たちは色々な言葉を使います。校長先生は今、皆さんに言葉で話しかけています。皆さんは教室で勉強するときや遊ぶ時にも色々な言葉を使っていますね。頭の中だけで何かを考えている時も言葉を使っているわけですよ。

その言葉は文字によってできています。例えばこれは「ね」という文字です。この「ね」だけでは特別な意味を持っていません。でもこの文字が組み合わさって言葉になると色々な意味が出てきます。例えば「願い事」とか「熱意」といった組み合わせにすると「よし頑張るぞ！」なんて気分させるすてきな意味のある言葉があります。では「し」はどうでしょう。同じようにこの文字だけでは特別な意味はありません。でも組み合わせれば、「親友」「幸せ」なんて聞いただけでうれしくなるような言葉もできます。意味のない文字を組み合わせただけの言葉ですが、言葉には不思議な力がありますね。すてきな手紙や物語もバラバラにしてしまえばただの文字です。でも組み合わせられた言葉があるだけで時には相手の人生を変えてしまうくらいすてきな気持ちを作ることができるわけですね。

言葉の力はとても強力です。だから使い方を間違えるととんでもないことになってしまうこともあります。さっき出てきた「ね」と「し」ですが、これを組み合わせると「死ね」なんて言葉もできてしまいます。これまた意味の無い文字を2つ組み合わせただけですが、相手にとってはとってもいやな気持ちになる、とても強くて悪い力を持った言葉です。

ちょっと難しい言葉ですが日本語に「言霊（ことだま）」という言葉があります。これは昔から日本にある言葉です。言葉が持っている神様のような力と言った意味でしょうか。昔から日本人は言葉には目に見えないけれどとても強い力があると信じていました。ある言葉を自分が言ったり書いたりしたらそれがその通りになってしまうというような力です。この力のことを言霊と呼んでいます。あなたの出した言葉がその言葉通りの力を出してしまうわけではありませんが、やはり私たちは自分が話したり書いたりする言葉にはそれくらいの力があるのだと考えて使いたいものですね。そして、言霊の力が使えるのだとすれば、相手を幸せにする、うれしい気持ちになってもらえるような言葉をたくさん使いたいですね。特別な言葉ではありません。みなさんはそんなすてきな言葉をたくさん知っているはずですよ。

今日は言葉の力、言霊というお話をしました。校長先生の言霊は皆さんに届いたでしょうか。今日も最後まで一生懸命聴いてくれてありがとう。